

パネルディスカッション  
地域共生社会の実現に向けた地域づくり

「共生」を実現するために考えること

せたがやノーマライゼーションプランナー（仮称）世田谷区障害者  
施策推進計画の策定に向けたシンポジウム

2020年9月29日（火）

朝日雅也（埼玉県立大学・世田谷区障害者施策推進協議会委員）

# 居場所とは？

◆従来は、障害のある人が**居るべき**場所が決められてきた

☛大型の入所施設、本来の住まいから遠い場所、病院・

▨本来は、**居たい**場所、**居ていい**場所、そしてある時は**居なければいけない**場所であること

☛自由に行ける、いつでも行ける、好きなだけ居れる

☛障害者雇用率制度：職場に一定割合の障害者が居なければならない

▼では、障害のない人は誰でも居場所を持っているのか？

☛N o ! 障害の有無にかかわらず**誰にとっても居れる**場所が必要

⇒共生のポイント どちらかが一方的に歩み寄ることではない

## こんな働く場だといいですね

### ◆障害があることを理由に排除しない職場

☞障害を理由とした差別がないだけでなく、**合理的配慮**が提供される職場

### ▨障害のある人が働きやすい環境にしたら皆が働きやすくなった

☞その人の能力ではなく、**環境との関係や作業手順**に着目

☞**働きづらさには色々な理由がある⇒ユニバーサル就労の可能性**

### ▼短時間でもいいじゃないか。必ずその時来てくれるのだから。

☞障害の特性を短所とみるのではなく**特長として生かし合う**

☞「世界は誰かの仕事でできている」（某飲料メーカーCM）

## こんなカフェだといいいですね

### ◆喋らなくてもOKのカフェ

- ☞そこにいるだけでもコミュニケーション
- ☞お一人様用で壁に向いている席があってもいいね

### ◈話したいときにはカードで意思表示ができるカフェ

- ☞「食べ放題」も時には「休憩中」のサインが欲しいですよ
- ☞話したい内容、来店の目的もカードで示せたりして

### ▼そこで働いている人から元気がもらえるカフェ

- ☞やはり障害のある人が真摯に接客する姿から学ぶことが多い
- ☞もちろん美味しいコーヒーは必須アイテム！！！！

# 福祉でまちづくりの観点から

- ◆課題を持つ人々が多くいることは、それだけ困難への対処経験を有する資源に富んでいるということ
- ☛福祉のまちづくりではなく、福祉でまちづくりの本質
- ▨福祉の課題の当事者はすべての人々であること
- ☛誰かがある環境によって困難をもっているのなら、そうさせている側にいるかもしれない
- ▼暮らし合い、働き合いは、時に迷惑の掛け合いから
- ☛わかったフリをして分けるのではなく、わかるまでぶつかる！